



友人の皆さん、

日々出会う人々に神の愛の現存をもたらすというかぎりなく魅惑的な使命、多くの人と共にその主の使命にあずかるためイエスに呼ばれていると感じること、これより大きな贈りものはありません。

この賜物によって私たちは、創造された一人ひとりへの主の愛の無償性に気づくようになります。この賜物によって私たちは、教育者として、いのちを愛してやまない者として毎日を生きる道を選びます。この賜物は、人々の心を明るく照らす愛を目に見えるものとするよう取り組みさせます。互いに出会う喜びを祝わせ、希望を目覚めさせます。この賜物は私たちの目を開かせ、自分たちの存在を意味と驚きで満たす、美と単純さを見いださせます。この確かさが、前進するようにと私たちを常に促してくれますように。

S. Ruth del Pilar Moya

■ サレジアン・シスターズ
宣教顧問
シスター・ルース・デル・ピラール・モラ

ドン・ボスコのスタイルで、若者の宣教教育を



サレジオの伝統では、**宣教と若者の教育**は、補い合う三つの形で結ばれています。ドン・ボスコは、宣教戦略における選択を明確にしています - 学校や教育機関を開設すること、そしてまず、サレジオ的な慈善（ボンタ）と共感によって、子ども・若者をひきつける。続いてサレジオ会員は、子どもたちの教育を通して、親とも信仰について語るに至ります。宣教地においては教育が社会全体に大きな影響を与えると、ドン・ボスコは見抜きました。良いキリスト教教育を受けた若い人々が、その後、良い知らせを自らの部族、民族、文化にもたらすからです。人々は、そのような宣教者から喜んで神の言葉を受け取るでしょう。

宣教の選択はサレジオの学校の営みをも形作ってきました。フィリッポ・リナルディ総長はサレジオ会員に思い起こさせています：「サレジオの家では、宣教の精神をいつも培ってください。なぜならその精神は、生徒たち自身の益となる優れた実を結ばせるからです。**使徒的な宣教の熱意**は、若者の心を自己中心的な感傷から引き離し、心を気高い聖なる愛着のうちに形作る最も効果的な手段の一つです。さらに、福音の光と福音的文明に照らしながら人生の現実とこの世の貧しさを思い起こさせる手段となり、カトリック教育を受けることの恵みを若者は味わうようになります。こうして若者たちは、他者のために生きる人生という召命に応えるよう、力づけられます。」

同じころ世界の別の場所で、宣教師ヴィンチェンツォ・チマッティは、自分自身、ゆだねられた**宣教の使命によって教育され、変えられなければならない**と、ある手紙で打ち明けています：「私たちが遣わされたその人々を愛すれば愛するほど、私たちはあらゆることにおいてますますその人々になるでしょう。私が思うに、このことは、これまでの、また現在の宣教師たちによってはいまだ達成されていません。このことが達成されなければ、日本の福音への回心は、きっとまだ数百年先になると思います……私たちの精神が日本のものにならないかぎり、私たちが福音宣教に成功しないということは確かです。」



結論：

- 教育は福音宣教の方法；
- すべての若者への教育となる宣教精神；
- 最初に教育されるのは宣教師！

■ 教皇庁立ローマ・サレジオ大学（UPS）
副院長
ミハル・ヴォイタシュ神父，SDB

振り返りと
分かち合いのために

- 福音を告げ知らせる方法として、全人的人間開発をどのように促進できるだろうか？
- 全人的成長の中核として、心の回心をどのように導くことができるだろうか？



スロベニアを愛する ベトナム人サレジオ会員



サレジオ会員のお二人、スロベニア、あるいはスロベニア人のどのようなところがいちばん好きですか？

ヨセフ：スロベニアのいちばん好きなところは、この国の人々です。心が開かれていて、フレンドリーで、思いやりがあり親切です。特にサレジオ会員たちがそうです。ここに来たとき、まず何もかも慣れないことばかりでした。兄弟たちは、私が新しい環境に溶け込めるよう忍耐強く導いてくれて、わたしを愛し、世話してくれました。彼らは私のお手本、私の宣教師になったのです。

ヴィンセンテ：スロベニアは中央ヨーロッパの小さな国です。人口はわずか200万人余りですが、美しい風土、湖やロマンチックな景色、歴史的な旧跡に豊かに恵まれています。私は興味をかきたてられ、この国の自然が大好きです。スロベニア人は心が広く、親しみやすい人たちです：特に子ども、若い人たちはとても活発で親切です。そのため、皆さんと出会い、コミュニケーションをとり、一緒に働くとき、わが家にいるような居心地よさがあります。

サレジオ的な働き方のスタイルという点で、ベトナムとスロベニアの最大の違いは何だと思えますか？

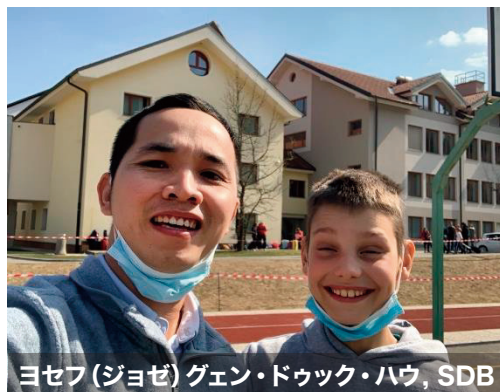
ヨセフ：最大の違いは、活動におけるサレジオ会員の役割です。ほとんどの若者のためのプログラムで、スロベニアのサレジオ会員はリーダーというよりも、支え、同伴する役を果たします。対照的に、ベトナムではサレジオ会員はリーダーの役割を果たし、多くのプログラムで意思決定の中心となります。

ヴィンセンテ：ベトナムとスロベニアの最も大きな違いは教育のあり方です。スロベニアのサレジオ会員は若者を主役にし、活発に活動させますが、ベトナムでは、犠牲と奉仕の生き方ができるよう若者を助けることに、より注意を傾けます。ベトナムのサレジオ会は、少年たちのために多くの活動を生み出しながら、祈りと毎日のミサも、とても強調します。ベトナムで今も多く多くの召命があり、多くの若者が修道者や司祭になりたいと望むのは、そこにも要因があります。

スロベニアのサレジオ会の現実に溶け込み、その中で成長するため、最も大きな助けとなることは何ですか？

ヨセフ：今、最も大切だと思うのは、謙遜と子どものような素直さ、スロベニアのサレジオ家族から学び、受け入れ、その一員になろうとする心です。

ヴィンセンテ：会員が絶えず祈り、兄弟愛をもって相手を大切にし、分かち合い、確認してくれる共同体が、私には必要です。それによって会員が皆一つになり、ドン・ボスコと同じ精神を生きるようになると思います。



ヨセフ (ジョゼ) グェン・ドゥック・ハウ, SDB

私はドン・ナイ県のドゥック・フイー小教区出身です。ホーチミン市のバ・トン共同体で修練期を、3年間のポストノビスの時期をダラットで修めました。修練のときから宣教師になりたいという望みがありましたが、哲学の3年目のとき決心しました。



ヴィンセンテ (ヴィンコ) レ・タン・チュン, SDB

私はドン・ナイ県に生まれました。ホーチミン市のバ・トン、イエスの聖心共同体で修練期を、ポストノビスをダラットで修めました。

修練期のとき、祈りの中で宣教師になることを選びました。しかし、哲学の3年を終えて、はじめて宣教地へ行くことができました。

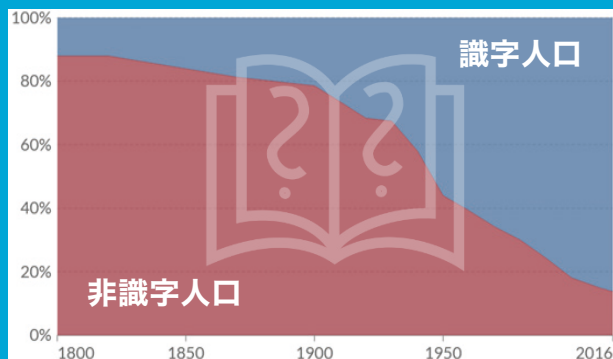
世界の人口に占める識字、非識字の割合

15歳以上の人々の間で

識字率は20世紀初めにかけて、一貫して、しかしゆっくりと増加しました。

基礎教育が世界的な優先課題となった20世紀半ばから、識字率は急速に増加しています。

出典：ESE - Salesio University Publishing



1月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

教育にたずさわる人々のために

スロベニアの若者のため、
ドン・ボスコのスタイルの教育が促進されますように。

教育にたずさわる人々のために祈りましょう。教育者が、信頼できるまことのあかし人となり、競争よりも兄弟愛を教え、最も幼い者、最も弱い者を助けますように。

| 教皇フランシスコの祈りの意向 |

スロベニアの
ために

